

## 外部評価委員会結果記録書

平成 24 年 8 月 23 日作成

評 価 年 月 日	平成 24 年 8 月 2 日
評 価 の 概 要	<p>新潟県環境マネジメントシステムについては、ほとんどの項目で年次目標を達成するなど、概ね良好な運用がなされている。P D C A サイクルにおいては、各所属において実績把握と原因分析（チェック）を行い、次の改善（アクション）に生かすとともに、全県での取組状況の把握を行うことが重要であり、以下の点について検討し、引き続き改善を進めることが望まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 複写機用紙については、業務効率に配慮しながら、事前送付した会議資料は持参いただくなど、前例にとらわれず必要性を検討し、使用量の削減に努められたい。</li><li>2 環境リスクの高い事務における法令違反については絶対許されないことであるので、違反事例の周知により再発防止に努められたい。</li><li>3 省エネ、省資源の取組については、各取組の効果数値を表示することに努め、これを庁内に周知することにより、取組を促進されたい。また、各所属の現場でのアイデアを生かすことで新たな効果的な取組の発掘すること、部局内での取組の相互チェックを行うこと、節電可能な項目を平素から確認しておくなど、所属での取組意識を高める工夫をしていただきたい。</li><li>4 太陽光発電の県施設への設置を促進するとともに、削減効果の大きいエコドライブの一層の取組を図られたい。また、植木への散水では水道水に代えて、中水（再利用水）の活用を検討されたい。</li></ol>